



ENJOY ALPINE CLIMBING

中級だより

これからアルパインクライミングを目指す人のための学校
※無雪期 「中級登山学校」

岩登りの技術を中心に、ロープワーク、レスキュー技術、自然条件に対する判断能力、
体力強化、山の生活技術など、総合的に学ぶ様子をスタッフよりお伝えします。

Vol.7

中級登山学校の集大成となる修了山行を今月号と来月号の2回にわたってお伝えします。
台風の影響で修了山行そのものが危ぶまれましたが、みんなの祈りが届き、直前になって天気が好転しました。
今月号は、奥又白組と屏風組のレポートをどうぞ！

修了山行: 奥又白(前穂4峰正面壁・北条新村ルート)

受講生 石橋さん(ぼっぼ会) : 松本(好)コーチ(このはな)、土田スタッフ(マウンテンクラブ)パーティー

受講生 麻所さん(豊中労山) : 市川(雅)Aコーチ(このはな)パーティー

【9/22(土)】

午前5時過ぎ、雨の中、屏風組と一緒にタクシーにて上高地に到着。みんなレインウェアを着て出発し、新村橋で屏風組と、お互いの健闘を祈って別れ、パノラマコースから中畠新道を経て奥又白池に到着しました。

テントを設営している間に、雲も切れ太陽が出てきて、天空の奥又白池からの絶景にみんな感動していました。

【9/23(日)晴れ】

午前4時、予定通り行動開始。今年は雪渓もなく取付きまでのアプローチは比較的容易かと思いましたが、受講生お二人は今までに経験したことのないガレ場に緊張が隠せない様子で慎重に足を進めます。取付きに到着するころ、モルゲンルートで岩肌が輝き、とても綺麗でした。午前6時、登攀開始。受講生のお二人は、北アルプスの圧倒



的なスケールの大きさに躊躇することなく今まで習ってきた技術や知識をフルに生かし、北条新村ルートを完登。

しかし、ここで終わりではありません。この終了点の4峰より北尾根の岩稜帯を縦走し、前穂高岳山頂を踏破し、ガレたA沢を下って奥又白池へ。テン場に戻ったころには、すっかり暗くなっていました。受講生のお二人は、疲れているのに休むことなく食事の用意をしてくれ、コーチとスタッフに美味しい料理を振舞ってくれたのです。なんとタクマシイ！

【9/24(月)晴れ】

午前7時、名残惜しく奥又白池を後にし、上高地へ。そして、またタクシーで修了山行参加者みんなとの待ち合わせのひらゆの森温泉へ。

【まとめ】このコースは初日の奥又白池までの中畠新道が急登で、二日目の登攀行程も長く大変だったと思います。

しかしだからこそ、完登した時の喜びは一入だったと思います。岩を登る技術だけではなく、ガレ場でのアプローチ、岩稜帯でのルートファインディング、気力、体力、冷静な行動と判断力がある本チャンを楽しめたのではないのでしょうか。

修了山行:奥穂 夢の屏風岩(雲稜ルート)

出演者

受講生 吉田さん(このはな) : 柳川校長(TENSION)、山崎スタッフ(豊中労山)パーティー

受講生 近藤さん(ぼっぼ会) : 川田コーチ(このはな)、西村スタッフ(泉州労山)パーティー

9月22日、夜明け前にバスを降りると予定通りの雨、重い気持ちでベースの横尾に重い足を運びました。

両パーティーとも初日は諦め昼前に雨が上がる予報の横尾ベースを楽しむことに頭を切り替え前を向くことにしました。

急ぐ事もないと近藤パーティーは上高地から少し歩いたあずまやで夜明け前からラーメンを作ることに、上高地で待機していた、奥又組、吉田パーティーが横を通り、なぜかラーメンを分け合い見送る。

ベースに到着した近藤パーティーですが、どこにも吉田パーティーが見当たりません。先行した吉田パーティーは梓川渡渉の確認にいったそうです。有難う御座います。

昼前には雨もあがり設営し明日に備えることに。吉田パーティーは初日に雲稜ルート大テラスでピバグし屏風へ抜ける予定でしたが諦め、雲稜ルート東壁ルンゼまで行き、懸垂でおりてくる近藤パーティーと行動を共にすることになりました。天候が回復し雲稜にクライマーが集中することや、通常とは別のアプローチ道に迂回するため早朝4時の出発。暗闇のなか、藪こぎ、渡渉を繰り返しながらルートファインディング、柳川校長と川田コーチの的確な判断で1ルンゼ押し出しに到着したころには、すっかり明るくなり青空が頭上に張り付いている。

少し歩けば屏風の全貌が鎮座している。これでもかと迫れどもとにせまってきた。

高鳴る胸の鼓動を感じながら1ルンゼ取り付きへ・・・なんと！取り付きに数えること14人！「アトラクションの行列か！」思わず叫ぶ柳川校長。予定を変更し東壁ルートへ変更したが、なんとルートが苔むして登れない。

1ルンゼ取り付きに引き返し最後尾にならび順番待ち。ティータイムで気を取り直しクライムON。その後つかえながらも登攀。1ルンゼ2ピッチT4を超え扇岩テラスにて時間切れ。眼下には梓川、登攀中この上ない風景に頭の中では軽快な音楽が流れ続いていました。受講生とスタッフ、来年こそは屏風の頭を越えようと誓い合い懸垂下降にて下山しました。

夢の屏風、受講生はもちろん、今年度で校長としては最後の柳川さんをはじめ、去年は台風で中止となったスタッフ、各々の思いを秘めた物語が修了しました。

修了山行を無事に終えられたことは、ひとえに皆様の温かい御支援があつてこそだと思います。受講生、スタッフとも安全意識を肝に銘じ今後とも精進していくことでお礼とさせていただきます。ありがとうございました。



物語は来年につづく

